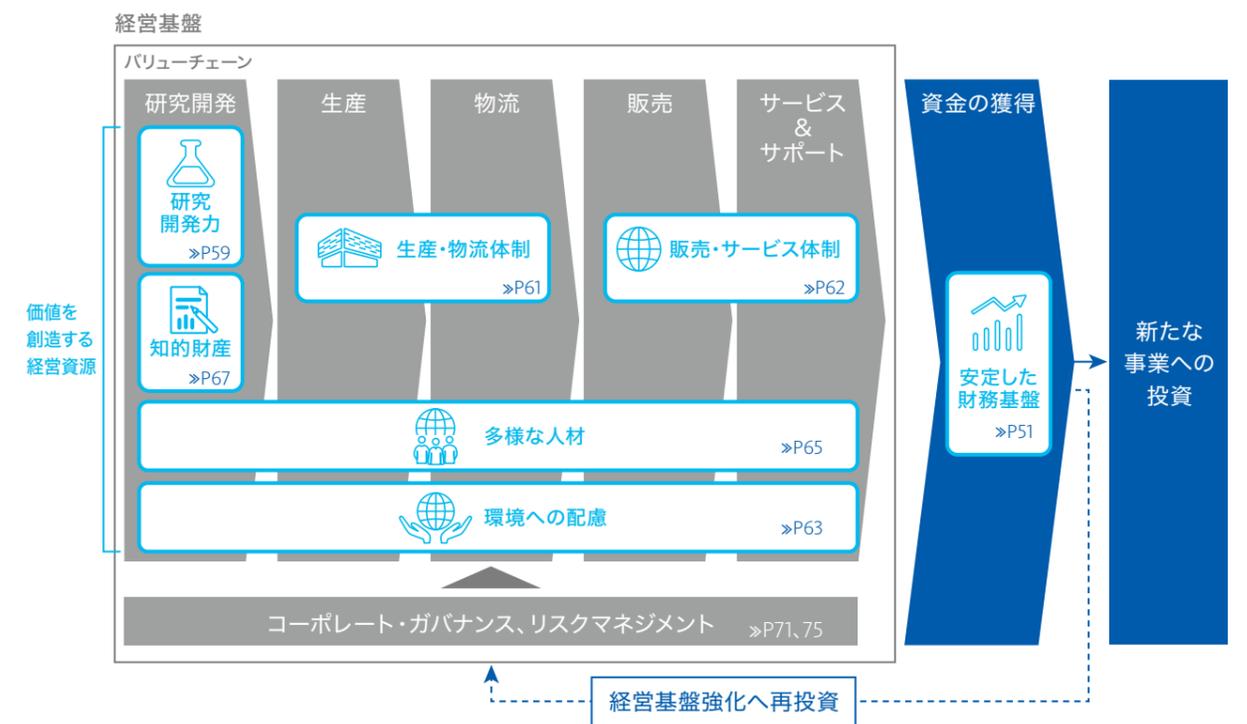


## 経営資源と事業活動

シスメックスは、ヘマトロジー分野を中心とする検体検査事業を軸に、強固な経営基盤を構築してきました。これまで培ってきた経営資源をもとに、既存事業のさらなる成長を目指すとともに、新たな事業へ投資することで成長ドライバーの確立および経営基盤の強化に取り組んでいきます。



# 経営資源と事業活動

経営資源	成長を支える主な資源と課題	実績(2021年度末)
 <p>研究開発力</p>	<p>独自技術に加え、M&amp;Aなどにより3つの技術プラットフォーム(細胞・タンパク・遺伝子)を獲得。目まぐるしく変化する技術革新に対応するため、テクノパーク(神戸)を中心にグローバルに研究開発拠点を整備したほか、大学、医療・研究機関、製薬企業をはじめとする外部機関との共同研究を展開。臨床価値の高い検査・診断技術の開発と事業化を目指します。</p>	<p>研究開発拠点*</p> <p><b>8カ国 22拠点</b></p> <p>※ 2022年4月時点</p>
 <p>生産・物流体制</p>	<p>機器生産は、高品質を実現しながらもグローバルなコスト競争に対応するため、ICTを活用した効率的な生産体制を構築しています。試薬生産は、グローバル展開にあわせて世界10カ国14拠点に工場を設けることで、世界中のお客様への安定供給を実現しています。また、サプライヤーとの関係構築など、サプライチェーンマネジメントの強化にも取り組んでいます。</p>	<p>生産拠点</p> <p>機器: <b>7</b> 拠点</p> <p>試薬: 化学系 <b>8</b> 拠点</p> <p>バイオ系 <b>6</b> 拠点</p>
 <p>販売・サービス体制</p>	<p>創立以来、各地域に適した販売・サービス体制を構築し、お客様との信頼関係を築いています。世界190以上の国や地域に展開する医療ネットワークへアクセスするため、自社資源だけではなく、グローバルメジャー企業などとのアライアンスを活用し、販売・サービス体制の強化や、製品ポートフォリオの拡充に取り組んでいます。</p>	<p>販売・サービス拠点</p> <p><b>44カ国 62</b> 拠点 (関係会社数)</p> <p>カバーエリア</p> <p>世界<b>190</b>以上の国や地域</p>
 <p>環境への配慮</p>	<p>長期環境ビジョンを設定し、バリューチェーン全体での環境負荷低減に取り組んでいます。近年は、気候変動対策を全社統一的に推し進める重要性を鑑み、TCFDに基づく情報開示を進めるとともに、2040年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル目標」を設定し、環境保全を推進しています。</p>	<p>事業活動におけるCO<sub>2</sub>排出量の削減率</p> <p><b>44%減</b></p> <p>(基準年度:2016年度)</p>



経営資源	成長を支える主な資源と課題	実績(2021年度末)
 <p>多様な人材</p>	<p>事業のグローバル化やM&amp;Aなどにより多様な人材を獲得しています。今後予想されるグローバルな人材獲得競争のさらなる激化を見据え、従業員が安心して働ける職場環境の整備など、働き方の多様化への対応や育児・介護支援制度のさらなる充実に加え、グローバルで統一した人材マネジメントシステムの導入・運用を進めます。</p>	<p>海外従業員比率</p> <p><b>60.4%</b></p> <p>女性マネジメント職比率*</p> <p><b>17.3%</b></p> <p>※課長級以上の女性比率(グループ全体)</p>
 <p>知的財産</p>	<p>グローバルな事業展開にあわせ、ビジネスモデルを保護しながら、競争優位性の確保および模倣防止のため、世界各国で特許や商標の出願を行うなど、積極的な知的財産活動を行っています。また、自社の知的財産権と同様に第三者の知的財産権を尊重するため、知的財産に関するガバナンスの強化に取り組んでいます。</p>	<p>特許出願件数</p> <p><b>298</b> 件</p> <p>商標出願件数</p> <p><b>93</b> 件</p>
 <p>安定した財務基盤</p>	<p>検査機器に加え、試薬およびサービス&amp;サポートをあわせてお届けする、収益性の高いビジネスモデルを確立しています。この安定したビジネスモデルを活かし、既存事業の競争力強化や、中長期的な成長を支える新たな事業、人材、DXなどに積極的な投資を行っています。</p>	<p>3年間累計フリーキャッシュ・フロー</p> <p><b>786</b> 億円 (2019年度～2021年度)</p> <p>格付(格付投資情報センター(R&amp;I))</p> <p><b>AA-</b></p>



# 付加価値の高い検査・診断技術を創出する「研究開発力」

創立以来、培ってきた技術力・技術プラットフォームおよびグローバルに展開する研究開発拠点を活用し、既存事業の競争力強化および新しい検査・診断技術の創出を進めています。

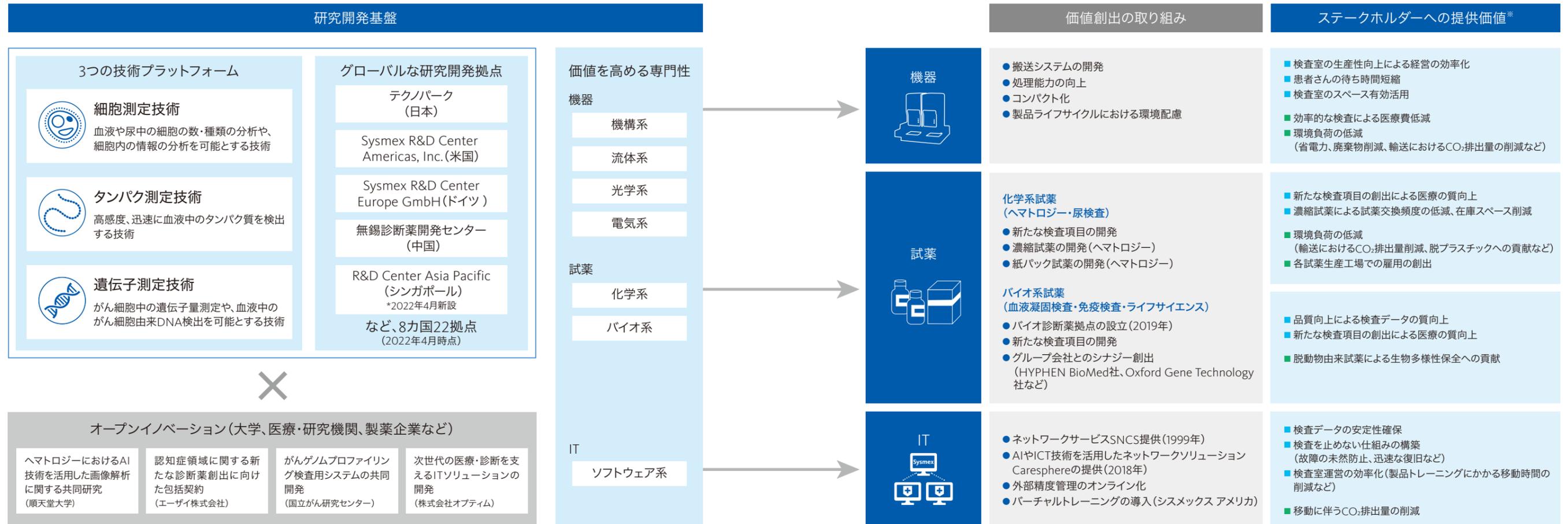
関連マテリアリティとサステナビリティ目標KPI	主な進捗
製品・サービスを通じた医療課題解決 ● がんゲノム医療解析実施件数 1.6千件 (国内グループ) ● OSNA法による乳がん患者検査件数 54千件	がんゲノム医療解析については前年度の実施件数を維持したほか、OSNA法による乳がんの検査は昨年度を上回りました。また、ヘマトロジー分野では、新製品を販売開始したほか、中国において免疫検査分野の試薬項目を拡充するなど、着実に市場導入を進めています。

## 機器・試薬・IT技術を活用した付加価値の高い製品・サービスの提供

シスメックスは、創立以来、機器・試薬・ITに関する技術を獲得してきました。これらの技術の融合により、検査にとって最も重要な正確性の高い検査データの提供に加え、お客様のニーズに応じた改良や、エラー発生時の迅速な原因究明が可能となっています。また、新たな検査・診断技術の創出だけでなく、ユーザビリティの向上や環境負荷の低減などを考慮した付加価値の高い製品・サービスを提供しています。

機器については、検査室の生産性向上のため、処理能力の向上や搬送システムによる多検体処理、コンパクト化などを実現してきました。試薬については、化学系の試薬に加え、生物由来の原材料を利用するバイオ系試薬の新たな検査項目開発に注力しています。ITについては、1999年にネットワークサービス SNCSを開発するなど、いち早く医療現場のネットワーク化を推進してきました。2018年には、新たなネットワークソリューション Caresphereの提供を開始し、検査の効率化および品質向上に寄与するアプリケーションやサービスを展開しています。

■ 研究開発を通じて提供する価値



※ ■ お客様 (医療機関など) への提供価値 ■ 社会への提供価値

## 新たな価値の創出に向けて

シスメックスは、細胞、タンパク、遺伝子を測定する3つの技術プラットフォームを活用し、新たな診断技術の開発と実用化に取り組んでいます。また、中核拠点のテクノパークのほか、ドイツ、米国、中国、シンガポールなどグローバルに研究開発拠点を展開しており、各地域のニーズにあわせた研究開発を行っています。また、目まぐるしく変化するヘルスケア領域の環境下で、いち早く技術開発と事業化を推進するため、M&Aやオープンイノベーションによる外部機関との協業、アライアンスの活用も進めてきました。

新たに獲得した技術と、既存事業で培った技術を組み合わせることで、シスメックスならではの新たな価値創出を目指します。



## 高品質と安定供給を実現する「生産・物流体制」

医療を支える企業として、徹底した品質管理とグローバルな生産体制を構築し、高品質な製品を途切れることなくタイムリーに、医療現場へお届けしています。

関連マテリアリティとサステナビリティ目標KPI	主な進捗
責任ある製品・サービスの提供 ● CSR調達回答率(原材料一次サプライヤー) 90% ● サプライヤーに対するトレーニング件数 5件(単体)	CSR調査回答率は、2017年度の81%から着実に増加しており、2023年度の目標である90%を達成しました。サプライヤー向けトレーニングは、オンラインを活用し、前年度より3件増となる5件実施しました。

### 高品質を実現する機器生産体制

「正しい検査結果」が必要とされる医療現場において、検査機器には限りない品質の高さが求められます。そのためシスメックスは、研究開発やサービス&サポートの中核拠点を有する兵庫県に工場を設けることで、社内連携を強化し、少量多品種の製品を高品質に製造しています。また、グローバルな価格競争に対応するため、ICTを活用した最先端の生産管理や品質管理技術を導入するなど、生産の効率化を進めています。部品調達では、サプライヤーへシスメックスの事業の方向性や調達方針などの情報を共有することで、関係強化に努めています。

#### ■生産における主な取り組み

	主な取り組み
<b>機器生産</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>ICTを活用した効率的な生産・物流体制</li> <li>中国など地域特有のスキームに対応するノックダウン生産体制の構築</li> <li>国際規格や各種認証取得(品質・環境)</li> </ul>
<b>試薬生産</b> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>グローバルな生産体制の構築</li> <li>バイオ診断薬拠点の稼働(原材料内製化、脱動物由来原料の開発など)</li> <li>国際規格や各種認証取得(品質・環境)</li> </ul>



### 外部委託先物流センター火災におけるBCPの実践

シスメックスでは、医療現場へ製品の安定供給を続けるため、自然災害やCOVID-19のような感染症の流行を想定した事業継続計画(BCP)を、生産・調達など機能ごとに策定しています。2021年、製品保管などを委託している日本の外部委託先物流センターで火災が発生した際は、このBCPに基づき、グループ内で保有する生産・物流など全サプライチェーンの総合力を活かした対策を講じた結果、途切れることなくお客様への製品供給を実施しました。



SCM本部火災対応メンバー

### 安定供給を支える試薬生産体制

検査を実施するうえで日々使用される試薬の安定供給は、医療機関にとって必要不可欠です。シスメックスは、主にヘマトロジー、尿検査分野で使用する化学系試薬について、世界8カ国に生産拠点を設けるなど現地生産移管を推進しており、有事の際には各工場で相互補管できる供給体制の構築を進めています。免疫検査、ライフサイエンスなどで利用されるバイオ系試薬については、2019年神戸に設立したバイオ診断薬拠点において、原料の開発から試薬の開発、生産、物流の一貫体制を構築し、高品質・高付加価値の製品を安定的にお届けすることを目指しています。

## グローバルな成長を支える「販売・サービス体制」

グローバルな販売・サービスネットワークと、「ヘマトロジーシェア No.1」のブランド力を活かして、市場の獲得およびシェアの拡大を続けています。

関連マテリアリティとサステナビリティ目標KPI	主な進捗
製品・サービスを通じた医療課題解決 ● ヘマトロジー市場シェア 55.7% ● 新興国・開発途上国売上高 1,430億円	グローバルな販売網の拡大などにより、ヘマトロジー市場シェアは 継続して拡大しています。新興国・開発途上国売上高は、インドにおける直販体制の整備やCOVID-19で減少した検査数の回復などにより、前年から200億円以上増加しました。

### 世界190以上の国・地域をカバーする販売・サービスネットワーク

シスメックスがグローバルに成長を続けている主な要因は、時代の流れを読み、各地域でいち早く事業基盤を確立してきたことにあります。創立間もない頃からグローバル展開を推し進め、2006年にはヘマトロジーシェア No.1を獲得、現在は世界40カ国以上に関係会社を設立しています。さらに、地域の特性に応じて、グローバルメジャーとのアライアンスや地域の代理店との協業により、販売ネットワークを構築してきました。

サービス&サポートにおいては、ネットワークソリューション Caresphereと連携し、お客様の機器の動作ログを解析することで故障を未然に防ぐとともに、検査データの精度管理を行うなど、お客様の検査業務の効率化や品質管理に貢献しています。

### 厳格化する薬事規制への対応

近年、先進国における法規制の厳格化や新興国における独自規制の導入が進んでいるため、迅速に情報収集を行い、対応することが重要です。シスメックスは、タイムリーに新製品を市場へ導入し、販売活動を行うため、さらなる薬事・臨床開発機能の強化に取り組んでいます。例えば、グローバルでの製品性能評価体制の強化や専門人材の育成など、事業の多角化や規制動向への対応力を高めています。



#### ■各地域の直接販売比率と販売・サービス&サポートにおける主な取り組み

	直販比率 (2021年度時点)	主な取り組み
日本	100%	主力のヘマトロジー分野を中心に、ダイアグノスティクス事業のポートフォリオ拡充やがんゲノム医療領域などのアッセイサービスのほか、メディカルロボット事業への進出など、新たな市場開拓に取り組んでいます。
米州	75%以上	北米は直接販売体制、中南米ではアライアンスを活用した販売体制を構築するなど、各国のニーズにあわせた販売活動を行っています。医療機関が広大なエリアに点在する米国では、オンライントレーニングなどのサービスイノベーションへの取り組みにより、顧客満足度調査において継続して高い評価を獲得しています。
EMEA	70%以上	先進国、新興国100カ国以上に展開するEMEAでは、それぞれの地域特性に応じた販売・サービス体制を構築しています。近年では、エジプトやサウジアラビアなど中東地域を中心に現地法人を設立するとともに、アライアンスパートナーとの連携や直販エリアの拡大など、さらなる体制強化に努めています。
中国	約1%	中国では多くの現地販売代理店を活用した販売網を構築し、ヘマトロジーを中心に尿・血液凝固・免疫検査、ライフサイエンスなどの製品を中国全土へ提供しています。サービス&サポートでは、IoTを活用した体制を構築しているほか、中国学術セミナーを定期的に開催し、最新の医療情報の提供を行っています。
AP	50%以上	経済水準や医療制度などが国によって異なるAPでは、それぞれの国の現地法人が主体となって、各国のニーズに応じた販売・サービス体制を構築しています。また、学術セミナーの開催や、検査の精度管理・標準化の支援など、医療水準向上に向けた活動にも取り組んでいます。

## 事業活動における「環境への配慮」

事業活動を通じ、環境負荷低減への取り組みを推進することで、グローバルにビジネスを展開する企業としての社会的責任を果たすとともに、市場での競争優位性を確立します。

関連マテリアリティとサステナビリティ目標KPI	主な進捗
<b>環境への配慮</b> ● CO <sub>2</sub> 排出量の削減率(機器製品使用時) 22%削減 ● CO <sub>2</sub> 排出量の削減率(出荷物流) 1%削減 (基準年度:2016年度) ● 包装用資材削減率 9%増加 (基準年度:2019年度)	機器製品使用時のCO <sub>2</sub> 排出量は、省電力商品の販売増加やグローバルでのCO <sub>2</sub> 排出係数が改善傾向にあることから削減しましたが、包装用資材削減率については、試薬売上増加に伴う包装用資材(紙パック)の使用が増加したため、悪化しました。

地球環境の保全が喫緊の課題となっている中、シスメックスはグローバルに事業を展開する企業として、事業活動における環境への負荷低減を優先して取り組むべき課題と認識しています。

気候変動はヘルスケア市場に対しても大きな影響を及ぼすと考えられています。気候変動問題への対処が遅れると、気温上昇による熱中症患者さんの増加、マラリアやデング熱など熱帯病流行地域の拡大、大気汚染による呼吸器疾患の増加などが懸念され、医療費の増加や医療インフラの圧迫につながり、医療体制にも影響を及ぼす可能性があります。

また、気候変動以外にも水消費量の削減や、資源循環の推進、生物多様性の保全など、環境問題はシスメックスの事業活動全般に関わっています。

シスメックスは、長期的な環境マネジメントの指針として「シスメックス・エコビジョン2025」を策定するとともに、「環境への配慮」をマテリアリティに特定し、製品ライフサイクルにおけるCO<sub>2</sub>排出量削減や水消費量の削減、環境に配慮したグリーン調達などを推進しています。また、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言に対応した情報開示を行っているほか、2022年に、2040年までにグループの事業所から排出される温室効果ガス排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル目標」を新たに設定しました。

このような対応を進めることは企業としての社会的責任であると同時に、ユニークな取り組みを行うことで市場での競争優位性確立につながります。世界中の人々の健康寿命延伸へ貢献するため、今後も中長期的な視点での環境負荷低減へ挑戦していきます。

### ■長期環境目標(2025年度)

(基準年度:2016年度)



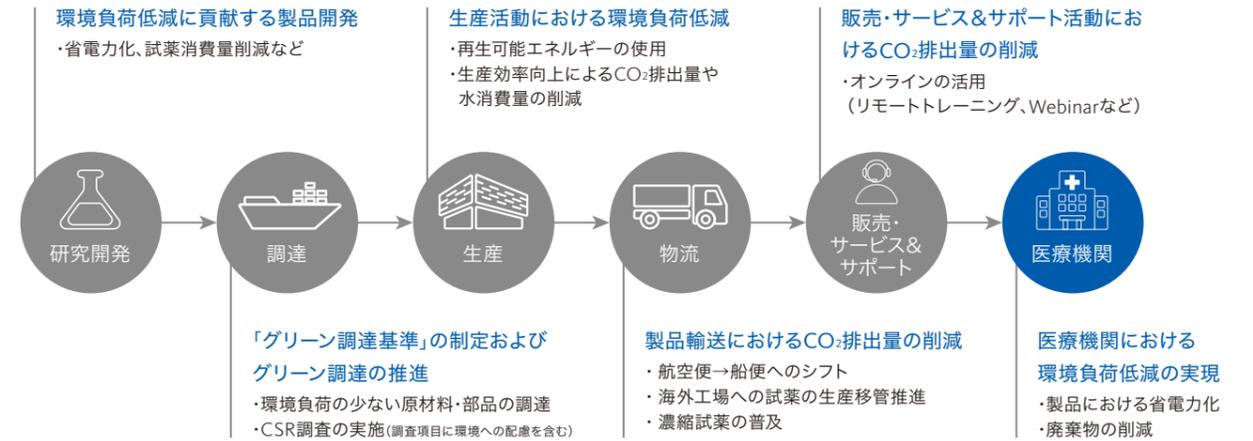
### TCFD提言への対応

シスメックスは、2021年1月にTCFDの提言に賛同し、そのフレームワークに基づき情報開示を行っています。

気候変動がもたらすリスクと機会については、代表取締役が議長を務める経営会議で特定し、上席執行役員がオフィサーを務める環境管理委員会において、年2回見直しを行っています。また、特定したリスクと機会については、環境管理委員会や関連する各部門が中心となって必要な取り組みを行っています。



### ■主な取り組み



### ■事業を通じた環境負荷低減の取り組み事例

#### 競争優位性の強化

##### 試薬の現地生産移管の推進

シスメックスは、海外工場への試薬生産移管を推進することで、お客様への安定供給およびコスト削減を実現するとともに、輸送距離の短縮によるCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献しています。ヘマトロジーや尿検査分野で使用される試薬については、世界8カ国に生産拠点を設置しています。

##### 環境に配慮した血球分析装置の新製品

2021年に販売開始したヘマトロジー分野の新製品の検体搬送システム製品群は、従来モデルに比べ処理能力が向上しただけでなく、小型化による省スペース化と消費電力の低減を実現しました。

- 省スペース化：横幅約15%削減
- 消費電力：約40%削減

また、モジュールの一つにフレキシブルな自動シャットダウン機能を搭載したことにより、検体数の少ない夜間などは、個別に選択した装置を自動シャットダウンすることで消費電力の削減が可能となりました。



#### 環境への配慮

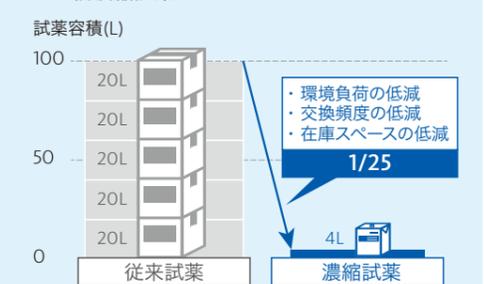
##### 濃縮試薬の普及促進

ヘマトロジー、免疫検査分野などの一部の機器では、従来試薬を25倍に濃縮した試薬が利用できます。

この濃縮試薬は、CO<sub>2</sub>排出量抑制のほか、コンパクト化による容器・包装材料の削減(省資源化)、検査室で発生する廃棄物の削減、さらにパッケージを従来のポリエチレンから紙パックに変更することで石油資源の節減なども実現しています。

加えて、検査室での試薬交換頻度の低減や在庫保管の省スペース化などユーザービリティ向上にも大きく貢献しています。

##### ■25倍濃縮試薬



##### ドライアイスフリー輸送の取り組み

シスメックスでは、厳格な品質・温度管理が必要な遺伝子検査用試薬の輸送において、チャーターなど専用便を利用しておりましたが、コスト、流通の柔軟性、利便性に課題が多く、さらに保冷に必要なドライアイスの利用についても改善を検討していました。

2021年に、シスメックスとヤマト運輸は、医薬品などのマイナス70度超低温帯での長距離輸送において、これまで不可欠と考えられていたドライアイスを一切使用しない、環境への配慮と低コストを両立した輸送モデルを実現しました。

## 持続的な成長を支える「多様な人材」

事業を通じて社会課題解決へ貢献したいという強い志と幅広いバックグラウンドを持った従業員は、持続的な成長を支える重要な経営資源であり、シスメックスの強みの源泉です。

関連マテリアリティとサステナビリティ目標KPI	主な進捗
<b>魅力ある職場の実現</b> ● 海外従業員比率 60.4% (グループ全体)* ● 管理職における中途採用者比率 約40% (単体)* ● 女性マネジメント比率 17.3% (グループ全体) 8.7% (単体)* ● 障がい者雇用率 2.31% (国内グループ) ※サステナビリティ目標以外の指標	女性マネジメント比率は、ジョブ型人事制度やスマートワークの導入などにより、主に日本地域での比率が上昇しました。また、直接販売・サービス体制の整備など、グローバルな事業展開の推進により、海外従業員比率も継続して上昇しています。

### 魅力ある職場の実現に向けて

近年、経済活動のグローバル化およびデジタル化の進展、労働人口の減少など、人材を取り巻く環境が変化しています。

シスメックスでは、事業のグローバル化・ポートフォリオの急速な多角化にともない、高度専門人材や次世代リーダーの獲得、育成および魅力ある職場を提供し続けることが重要な課題であると捉えています。さまざまな文化、信条・価値観や経歴を持つ多様な人材が、互いを尊重し、その能力を最大限に発揮できる職場環境の整備を継続して行い、グローバルで一体感を持ちながら安心して能力を発揮できる企業文化を醸成することは、外部競争力の強化に直結します。

### グローバルな人材マネジメントの強化

シスメックスの海外売上高比率は80%を超え、また海外従業員比率も60%を超えるなど、海外事業のウェイトが高まっています。グローバルに展開する事業を支えるため、海外拠点の事業推進は、コーポレート主導ではなく現地市場に精通した人材を採用し任せるなど、それぞれの国・地域の文化や価値観を尊重することで迅速かつ的確な施策展開につなげています。一方、日本では、シスメックス株式会社の管理職の約40%が中途採用の人材であり、異なる組織で培ったバックグラウンドや専門性を活かし、新たな価値観で業務に取り組むことで、シスメックスの競争力強化へつなげています。

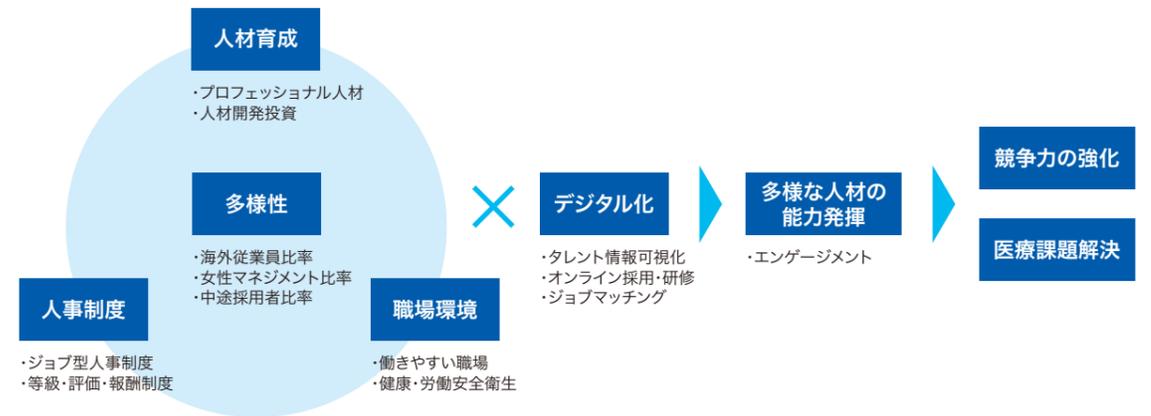
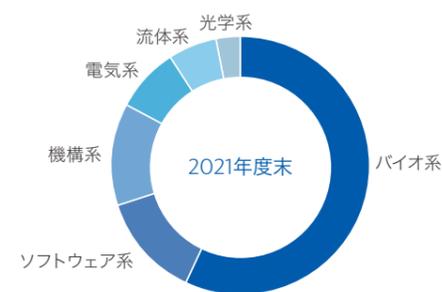
また、人材マネジメントにおいても、DXの活用を推進しており、採用、人材育成、人事制度、エンゲージメントサーベイのほか、従業員のタレント情報の可視化など、多くの点でデジタル化を進めています。

### ダイバーシティ&インクルージョンの推進

シスメックスでは、多様な人材が働きやすい環境を整備し受容する「ダイバーシティ&インクルージョン」を目指した取り組みを進めています。その一つである女性活躍推進については、KPIであるシスメックスグループの女性マネジメント比率が17.3%と年々高まっているものの、継続して改善に向けた取り組みが必要です。ただし、数値だけを性急に引き上げるのではなく、仕事と育児の両立を支援する制度の導入や、スキル開発に向けた研修などを拡充し、段階的に活躍する女性を増やします。

また、身体、知的、精神に障がいを持つ方々が個々の特性にあわせて活躍できる業務や職場環境を整備し、障がいの有無に関わらず、だれもが安心して働く喜びを感じながら、生き生きと活躍し、ともに成長できる、笑顔あふれる職場を目指しています。日本においては、特例子会社であるシスメックスハーモニーで、工場での機器や試薬の製造補助を行っているほか、シスメックスヨーロッパにおいても、障がい者の自立支援に取り組んでいる団体と連携し、ドイツ試薬工場の製造ラインでの梱包作業などを障がいを持つ方々に委託しています。

■ 研究開発系人材の専門内訳



研究開発系人材においては、細胞、タンパク、遺伝子といった異なる技術プラットフォームにおいて、機器・試薬・ITの自社開発を可能にする、多様かつ高度な専門知識を持つ人材がいることが大きな強みになっています。

### 持続的な成長をけん引する、新人事制度の導入と人材育成の強化

シスメックス株式会社では、役割や職務内容に基づき等級を決める「職務型（ジョブ型）」の人事制度を2020年度より管理職層を対象に導入し、2021年度には一般職層まで対象を拡大しました。今後は、グループすべての主要なポジションに対して、共通のHRポリシーに基づいた等級制度、評価制度、人材育成を展開し、グローバルで統一した人材マネジメントを実現します。人材育成については、グループ共通の「グローバル人材開発体系」に基づき、事業活動および職場での一体感の醸成や、次世代リーダーの育成など、各地域においてさまざまな施策に取り組んでいます。

### ニューノーマルな時代における働きやすさへの取り組み

シスメックスは、ミレニアル世代やZ世代の社員の増加から、ダイバーシティや自分らしさという視点が、今後、より重要な価値観になると考えています。また、シスメックス株式会社においては男性の育休取得率が5割を超えるなど、以前より職場環境を継続的に改善してきましたが、価値観やライフイベントに応じた働き方の選択肢をさらに充実させる必要性が高まっています。

健康経営宣言に基づきシスメックスでは、働きやすさと生産性向上の両立に向け、各地域でさまざまな施策を導入しています。シスメックス株式会社では、2021年度より「スマー

トワーク制度」を導入し、オフィス勤務と自宅でのテレワークなどを組み合わせたハイブリッドワークスタイルの採用など、ワークライフバランスを実現できる時間活用を推進しています。海外グループ会社においても、シスメックスヨーロッパなどEMEA地域の現地法人を中心に、充実した職場環境や従業員満足度の高さなどから、「Great Place to Work」を受賞するなど、外部からも高く評価されています。

シスメックスは、多様な人材が能力を発揮することで、高い生産性と成果を実現し企業競争力を強化するとともに、事業を通じた医療課題の解決へつなげていきます。

### LGBTQへの取り組み

シスメックス株式会社では、2020年度より、パートナーシップ登録制度を導入し、同性のパートナーを戸籍上の配偶者と同等に扱えるようになりました。性的マイノリティへの理解を深めるための情報発信など、LGBTQ当事者にとって安心して働ける環境作りに取り組んでいます。

2021年には、LGBTQへの支援を表明するため、シスメックスグループの各社がSNS公式アカウントのプロフィール画像にレインボーフラッグを取り入れました（期間限定）。



LGBTQへの支援を表明するため、公式SNSのプロフィール画像を変更

# グローバルな競争力を強化し、持続的成長を支える「知的財産権」

グローバルな競争力の強化に加え、お客様にシスメックス製品を安心してお使いいただくための技術、デザイン、ブランドを知的財産権で守りながら、新たな価値創出に取り組んでいます。

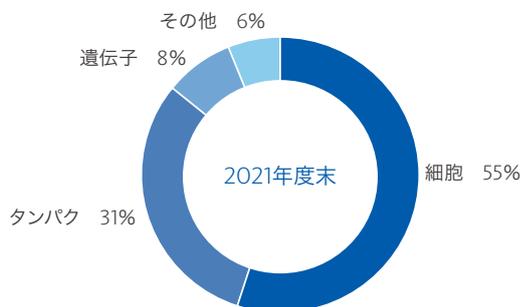
関連マテリアリティとサステナビリティ目標KPI	主な進捗
製品・サービスを通じた 医療課題解決 ● 特許出願件数： 298件 ● 特許保有件数： 3,680件	事業拡大にあわせ、ヘマトロジー分野を中心に戦略的に特許出願を推進し、前年度比3.8%増加しました。特許保有件数は前年度比5.6%増加し、グローバルな競争力を高めています。

## グローバル展開を支える知的財産権

シスメックスは、事業領域の拡大と海外展開にあわせ、グローバルに知的財産権の取得を推進しており、特許権、実用新案権、意匠権、商標権の海外比率は85%を占めています。

細胞・タンパク・遺伝子の測定技術プラットフォームの競争力を戦略的に強化するため、市場規模や模倣品発生リスク、知的財産に関連する法整備の状況に鑑み、日本、米国、欧州、中国を中心に特許権、実用新案権および意匠権を保有しています。

■特許保有件数の技術プラットフォーム別割合



また、シスメックスブランドを法的側面から確実に保護し、模倣品の流通による健康被害を防ぐため、新興国や開発途上国を含め、グローバルに商標権の確保を推進しています。なお、コーポレートブランドについては193の国・地域に商標を出願しています。

■商標、特許、実用新案、意匠の出願地域



## 知的財産に関するガバナンス

シスメックスは、自社の知的財産と同様に、第三者の知的財産権を尊重することをグローバルコンプライアンスコードで定めています。これに従い、知的財産法を順守・活用し、研究開発・事業を推進していくため、知的財産に関するレビューシステムを導入、自社および第三者の知的財産を評価しながら、戦略的に知的財産活動を推進しています。

また、研究開発・事業の各部門の委員から構成される知財活動推進委員会の定期的な開催や、取締役会などの経営会議において、年度の知的財産活動を総括・議論するなど、知的財産に関するガバナンス強化に取り組んでいます。

さらに、中期経営計画のサステナビリティ目標のモニタリング指標として、特許出願件数、特許保有件数など、知的財産活動に関するデータを開示しています。

## 知的財産に関する環境整備と社外評価

シスメックスでは、研究開発・事業部門を対象に、職務経験別や部門に特化した研修を行うなど、知的財産に関する教育体制を拡充しているほか、社内特許表彰制度や報償制度を充実させ、優秀な発明の創出を活性化させています。このような知的財産に関する環境整備の結果、今年度は主力のヘマトロジー分野において紫綬褒章を受章しました。これは、平成30年度の尿検査分野に続く2例目の受章です。また、2022年6月には3年連続となる全国発明表彰を受賞するなど、社外からも高く評価されています。